

学校運営協議会議事録

校名	大阪府教育センター附属高等学校
(准)校長名	福本 美紀

開催日時	令和7年11月10日(月)15:30~17:00
開催場所	探究図書館(1号棟3階)
出席者(委員)	委員6名
出席者(学校)	校長、教頭、首席(2)、指導教諭 大阪府教育センター(カリキュラム開発部部長、高等学校教育推進室長、 高等学校教育推進室主任指導主事)
協議資料	①【校長】教職員研修、校長通信 ②【教頭】令和8年度以降の再編計画について、本日までの学校における取組み内容、分校設置に伴う調整点、再編計画PT(スクール・ミッション、スクール・ポリシー等) ③【指導教諭】探究ナビⅢ探究ナビ2.0から教セン2.0へ ④【首席】令和7年度の学校説明会一覧について、地域連携についての進捗報告 ⑤【教務】令和8年度使用教科書(選定・採択)一覧表 ⑥【首席】授業研究委員会 令和7年度活動報告 ⑦【国際交流委員会】令和7度 国際交流・国際理解教育の進捗状況 ⑧【進路指導部】進路状況について

議題等(次第順)

- ①校長通信について(校長)
- ②再編計画等について(教頭)
- ③探究について(指導教諭)
- ④令和7年度 広報・地域連携について(首席)
- ⑤令和8年度 使用教科書選定状況について(教務部)
- ⑥授業研究について(授業研究委員会)
- ⑦国際交流について(国際交流委員会)
- ⑧進路状況について(進路指導部長)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ①校長通信について(校長)
- ②再編計画等について(教頭)
 - 【再編計画:報告】
 - ・令和9年度からの個別最適な学び推進校としての本校、令和8年度から開校する分校(学びの多様化学校)、一体としての再編を実施していく。
 - ・本校の新たなミッションおよび分校設置に伴う教員からの質問はアンケート等で集約し、職員会議等で確認を進めている。
 - ・本日に至るまでの再編計画に係る本校の取組みの報告
 - 8月26日に在校生に対して校内放送および保護者宛て文書の配付
 - 再編計画に係るプロジェクトチーム(PT)の設置
 - ・分校設置に伴う本校と分校の調整点
 - 本校の施設・機能の移転(社会科準備室や授業研究教室、教育相談室、別室等の移転)
 - 生徒の動線の確保(本校生徒と分校生徒は動線が重ならないようにする)
 - 共用部の使用方法(グラウンド・トイレ等の使用)
 - 学校文化の相違(制服の有無等)
 - 【再編計画:質疑応答】
 - (委員長)「分校生徒と本校生徒は動線が重ならないようになる」とあるが、登下校の動線のみ分けるのか。それとも教育活動全体で重ならないようになるのか。
 - (教頭)基本的には、一定期間は教育活動全体で重ならないようになることになる。例えば食堂の利用など、些事も含めて丁寧に検討しなければならない。
 - (委員長)例えば放送が分けられるのか、体育館はどのように共用するのか、教員の負担はどのように変化するかなど、多岐にわたって検討しなければならない。
 - (委員)通信制やフリースクールとは異なるのか。
 - (教頭)柔軟な教育課程になると思われる。学校設定科目として、「心を癒し育む科目」などがあることも本校等は大きく異なるところ。
 - (委員長)校則等も教育庁が決めるのか。
 - (教頭)教育庁と分校教員で決定する。
 - (委員長)職員会議はどのように行うのか。
 - (教頭)例えば4月に1回合同で実施し、以降はそれぞれに実施することを想定している。
 - (校長)互いの教頭はそれぞれの職員会議に参加することも考えられる。
 - (委員)探究ナビにはやはり様々な中学生の保護者から興味を持ってもらいたい。伝わるようにしてほしい。
 - (委員)分校は、府立高校からの転学もあるが、さまざま学びの背景を持つ生徒が集まると思うが、どのように授業をするのだろう。
 - (校長)まずは心を癒し、向き合うことに焦点が当たるだろう。
 - (委員)「個別最適な学び」と聞くと、「通級指導」のような観点も重要になってくる。「個別最適な学び」の実現には「探究」としての取組みの充実と「人材の確保」がとても大切になってくるだろう。
 - (委員)地域をもっと巻き込んでみてはいかがだろうか。
 - (副委員長)分校としての目的はどこにあるか。
 - (校長)学校に対して親近感を持ったり、学校とのつながりを持ってもらうようなところからスタートになるだろう。

【令和10年度実施開始の学校特色枠・スクールポリシーについて:報告】

- ・学校特色枠での選抜手順の確認および学校特色枠の概要
- ・アドミッション・ポリシーの見直しについて
 - 本校の改編に伴い、現行のアドミッション・ポリシーを見直す
 - 再編計画PTをはじめ多くの教員の意見を集約して作成
 - 本校の理念が中学生にわかりやすく伝わるように意識して作成

【令和10年度実施開始の学校特色枠・スクールポリシーについて:質疑応答】

- (委員長)「個別最適な学び」を「協働的な学び」の中で実現するはどういうことか。
- (教頭)本校が探究で培ってきた「協働的な学び」と合わせて「個別最適な学び」で生徒の学びをさらに充実させる。
- (委員長)「次の目標に向けて」という観点は探究にとどまらず「次のキャリアに向けて」という意図を持たせると良いのではないか。

(3)探究について(指導教諭)

【報告】

- ・探究ナビ2.0から教セン2.0へ
- ・3年生では探究を2単位から3単位に増枠して取り組む
- ・3年生ではチーム探究と個人探究の両方に取り組む
- ・生徒が立ててくる問い合わせには重なる部分、類似する部分が多い

【質疑応答】

- (委員長)教員ももっと探究してみてはいかがか。

- ④令和7年度 広報・地域連携について(首席)
- ⑤令和8年度 使用教科書選定状況について(教務部)
- ⑥授業研究について(授業研究委員会)
- ・研修の中で、教員の個人探究について挑戦する。
- ⑦国際交流について(国際交流委員会)
- ⑧進路状況について(進路指導部長)

次回の会議日程

日時	令和8年2月19日(木)15時00分
会場	探究図書館(1号棟3階)